

參考資料

1. 家庭的保育の研修内容

(基礎研修:すべての家庭的保育者に対する家庭的保育に必要な基礎的知識・技術等の習得)

科目名	区分	時間	内容	
導入	家庭的保育の概要	講義	60分	①家庭的保育の歴史的経緯 ②家庭的保育の特徴 ③家庭的保育のリスクを回避するための課題
家庭的保育の基礎	乳幼児の発達と心理	講義	90分	①発達とは ②発達時期の区分と発達 ③ことばとコミュニケーション ④自分と他者 ⑤手のはたらきと探索 ⑥移動する力 ⑦こころと行動の発達を支える家庭的保育者の役割
	食事と栄養	講義	60分	①離乳の進め方に関する最近の動向 ②栄養バランスを考えた幼児期の食事作りのポイント ③食物アレルギー ④家庭的保育者が押さえる食育のポイント
	小児保健Ⅰ	講義	60分	①乳幼児の健康観察のポイント ②発育と発達について ③衛生管理・消毒について ④薬の預かりについて
	小児保健Ⅱ	講義	60分	①子どもに多い症例とその対応 ②子どもに多い病気とその対応 ③事故予防と対応
	心肺蘇生法	実技	120分	

科目名		区分	時間	内容
家庭的保育の 実際	家庭的保育の保育 内容	講義 演習	120分	①家庭的保育における保育内容 ②家庭的保育の1日の流れ ③異年齢保育 ④新しく子どもを受け入れる際の留意点 ⑤地域の社会資源の活用 ⑥家庭的保育の記録 ⑦保育の体制
	家庭的保育の環境 整備	講義	60分	①保育環境を整える前に ②家庭的保育に必要な環境とは ③環境チェックリスト
	家庭的保育の運営 と管理	講義	60分	①情報提供 ②受託までの流れ ③家庭的保育の運営上必要な記録と報告 ④個人事業主としての財務管理
	安全の確保とリスク マネジメント	講義	60分	①子どもの事故 ②子どもの事故の予防 保育上の留意点 ③緊急時の連絡・対策・対応 ④リスクマネジメントと賠償責任
	家庭的保育者の職 業倫理と配慮事項	講義 演習	90分	①家庭的保育者の職業倫理 ②家庭的保育者の自己管理 ③家庭的保育者自身の家族との関係 ④地域との関係 ⑤保育所や様々な保育者との関係 ⑥行政との関係

科目名		区分	時間	内容
家庭的 保育の 実際	保護者への対応	講義 演習	90分	①家庭的保育における保護者との関わりと対応 ②家庭的保育における保護者への対応の基本 ③子育て支援における保護者への相談・助言の原則 ④保護者への対応 ～事例を通して考える～
	子ども虐待	講義	60分	①子ども虐待への関心の高まり ②子ども虐待とは ③子ども虐待の実態 ④虐待が及ぼす影響 ⑤子ども虐待の発見と通告 ⑥虐待を受けた子どもに見られる行動特徴 ⑦子どもが家で虐待を受けたと思われたならば ⑧家庭的保育で不適切な関わりを防ぐために
	気になる子どもへの 対応	講義	90分	①気になる行動 ②気になる行動をする子どもの行動特徴 ③気になる行動への対応の考え方 ④気になる行動の原因とその対応 ⑤保育者の役割 ⑥遊び ー日本に伝承されてきた育児法を用いるー
研修を 進める 上で必 要な講 義	見学実習オリエン テーション	演習	30分～ 60分	①見学実習のポイントと配慮 ②見学を引き受ける際の留意事項
	グループ討論	演習	90分	①討議の目的 ②討議の原則 ③討議の効果 ④討議のすすめ方

科目名	区分	時間	内容
見学実習	実習	2日以上	複数の家庭的保育者のもとで家庭的保育を実習 ①保育日誌・家庭連絡帳の作成の仕方 ②実習日誌作成・提出 (実習のうち1日は家庭的保育の1日の流れを体験)
実施自治体の制度について (任意)	講義	60分～ 90分	①連携保育所 ②関係機関 ③地域資源 ④巡回指導・監査指導等 ⑤報告事項などについて

家庭的保育の研修内容

(認定研修: 保育の知識・技術等の習得)

科目名	区分	時間	内容	
子ども家庭福祉	講義	4時間	「児童福祉」関連 ①児童福祉の意義とその歴史的展開 ②児童福祉に関する制度と福祉機関・施設 ③児童福祉の現状と課題 ④児童福祉の実践と児童福祉従事者 ⑤相談援助活動	「社会福祉」関連 ①現代社会と社会福祉の意義 ②社会福祉の法体系と実施体系 ③社会福祉援助技術の概要 ④社会福祉専門職 ⑤社会福祉の動向 ⑥利用者保護制度の概要
子どもの心身の発達と保育	講義	8時間	「発達心理学」関連 ①発達心理学の方法と考え方 ②初期経験の重要性 ③発達期の特徴 ④乳幼児期における発達援助のあり方	
子どもの健康管理	講義 演習	8時間	「精神保健」関連 ①小児の精神機能発達と精神保健 ②小児の生活環境と精神保健 ③小児各時期の精神保健 ④小児の心の健康障害 ⑤小児期の精神保健活動	「小児保健」関連 ①小児の健康と小児保健の意義と目的 ②小児の発育・発達と生活の支援 ③小児の食生活と栄養 ④心身の健康増進の意義とその実践 ⑤小児の疾病とその予防対策 ⑥事故と安全対策 ⑦児童福祉施設における保健対策 ⑧母子保健対策と保育

科目名	区分	時間	内容	
子どもの栄養管理	演習	6時間	<p>「小児栄養」関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ①小児の健康な生活と食生活の意義 ②小児の発育・発達と食生活 ③栄養に関する基本的知識 ④妊娠・授乳期の食生活 ⑤乳児期の食生活 ⑥幼児期の食生活 ⑦学齢期・思春期の食生活 ⑧小児期の疾病の特徴と食生活 ⑨障害をもつ小児の食生活 ⑩児童福祉施設における食生活 	
子どもの安全と環境	講義 実習	8時間	<p>「小児保健」関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ①小児の健康と小児保健の意義と目的 ②小児の発育・発達と生活の支援 ③小児の食生活と栄養 ④心身の健康増進の意義とその実践 ⑤小児の疾病とその予防対策 ⑥事故と安全対策 ⑦児童福祉施設における保健対策 ⑧母子保健対策と保育 	<p>「養護原理」関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ①児童養護の概念 ②施設における児童養護 ③施設養護の実際 ④児童福祉施設の運営・管理と援助者 ⑤今後の課題

科目名	区分	時間	内容	
子どもの保育	講義	6時間	「保育原理」関連 ①保育の本質 ②保育の場 ③保育の歴史と現状 ④保育所保育の原理 ⑤保育所保育の内容 ⑥保育所保育の計画 ⑦発達過程に応じた保育と指導計画 ⑧保育所の健康・安全上の留意事項 ⑨多様な保育ニーズへの対応上の留意事項 ⑩子育てに関する相談援助活動 ⑪保育所における自己評価 ⑫家庭、地域との連携 ⑬保育士の資質と任務	「教育原理」関連 ①教育の意義、目的及び児童福祉との関連性 ②教育の基礎的概念と諸理論 ③教育の歴史 ④教育の制度 ⑤教育の実践 ⑥生涯学習社会における教育 ⑦現代の教育問題
保育実習(Ⅰ)	実習	48時間	連携保育所の3歳未満児クラス中心の実習	
保育実習(Ⅱ)	実習	20日	連携保育所又は認可保育所において実習 [看護師、幼稚園教諭、家庭的保育経験者(1年以上)の者を除く。]	

※内容:研修内容は、家庭的保育者としての認定において必要となる教科目ごとに、①等を受講。なお①等は例示として示したものであり、全ての受講が必要ということではない。

※区分:それぞれの内容における養成課程に対応する形態としている

2. ベビーシッター資格認定制度

制度：ベビーシッターの専門性を高めるために、「認定ベビーシッター」資格を付与する資格認定制度。
公益財団法人全国保育サービス協会が実施

取得方法：①協会が実施する2つの研修会（新任研修会、現任Ⅰ研修会）を受講し、修了。

その後、ベビーシッターとしての実務経験をもち、認定試験を受験。

②保育士の資格を取得した者であり、「認定ベビーシッター資格取得指定校」として協会が指定した保育士養成施設において「在宅保育」の科目を履修（科目等履修も可）。

新任研修会

- ・目的：ベビーシッターとしての基本的知識全般を身につける
- ・期間：2日半

研修科目	研修内容	時間
児童家庭福祉	①児童家庭福祉総論 ②わが国の保育制度と保育サービス	90分
ベビーシッターの使命と役割Ⅰ	①児童家庭福祉における家庭訪問保育 ②家庭訪問保育の社会的背景、役割、歴史 ③家庭訪問保育の現状	60分
ベビーシッターの使命と役割Ⅱ	①家庭訪問保育者の基本姿勢 ②家庭訪問保育の仕事の流れ ③家庭訪問保育者としての持ち物 ④家庭訪問保育者としてのマナー ⑤事件・災害時の対策	60分

研修科目	研修内容	時間
保育マインド I	①子どもの心の発達と相互作用 ②子どもの育ちと大人の役割 ③生きる喜びと意欲	60分
子どもの発達 I	①子どもとは ②小児期の区分 ③子どもの成長 ④発達についての理解	60分
子どもの健康管理 I	①健康管理上の留意点 ②子どもにみられる病気 ③子どもに多く見られる症状と家庭のケア	60分
事故・安全 I	①子どもの事故 ②事故の回避・チェックポイント ③緊急時の対応	60分
保育技術 I	①年齢別の特徴に応じたかかわり方 ②生活の援助 ③乳幼児の栄養と食事 ④食育について ⑤家庭訪問保育における食事のお世話 ⑥ほめ方・叱り方	120分
家族とのコミュニケーション	①家庭における子育て支援の必要性 ②家族とのコミュニケーション	60分
ディスカッション	テーマ ・子どもにとってよいベビーシッターとは ・保護者との上手なコミュニケーションのとり方とは	120分
レポート(400字)	テーマ「私はこんなベビーシッターになりたい」	

現任 I 研修会

- ・目的:ベビーシッターとしての専門的知識及び技術を身につける
- ・期間:3日

研修科目	研修内容	時間
ベビーシッターの使命と役割Ⅲ	①家庭訪問保育の有効性と課題 ②さまざまな家庭訪問保育 ③リスクマネジメントと損害賠償 ④事業者とコーディネーターの役割	120分
保育マインドⅡ	①保育マインドの意義 ②子どもに眼を向け、心に向ける ③課題:保育マインドの視点から考える家庭訪問保育	60分
子どもの発達Ⅱ	①子どもの発達の概要 ②障害のある子どもの発達	90分
子どもの健康管理Ⅱ	①病気への対応と保育 ②家庭訪問保育における注意点 ③感染症 ④予防接種	90分
事故・安全Ⅱ ～実演・実習	①事故の対処法 ②心肺蘇生法(人形による全員実習)	180分
保育技術Ⅱ	①あそび ②年齢別の特徴に応じたあそび ③絵本	180分
ファミリーサポート	①さまざまな家庭における家族とのかかわり方 ②家庭訪問保育における子育てアドバイス	90分

研修科目	研修内容	時間
ディスカッション	テーマ ・ベビーシッターに求められるプロ意識について	120分
レポート(800字)	テーマ「ベビーシッターの使命と役割～私はこう考える」	

保育士養成施設における履修(「在宅保育」の履修)

講義、2単位(90分15コマ)

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1) 児童家庭福祉における在宅保育 2) ベビーシッター概論 3) 在宅保育における保育マインド 4) 在宅での子育て支援 5) 家族とのコミュニケーション・カウンセリングマインド 6) さまざまなベビーシッターサービス <ul style="list-style-type: none"> ① 産後ケア ② 病後児保育、障害児保育 ③ 送迎保育、同行保育 ④ 多胎児(双生児)保育 ⑤ 外国の子どもの保育、グループ保育、学童保育 | <ul style="list-style-type: none"> 7) ベビーシッターの基本姿勢 8) ベビーシッターの仕事の実際 9) 小児保健と子どもの発達 10) 子どもの健康管理 11) 在宅での事故の予防と対応 12) 在宅における保育技術(年齢別保育、栄養、睡眠、排泄、入浴など) <ul style="list-style-type: none"> ① 乳児保育 ② 幼児保育 |
|--|--|